

第2回

日本銀行金沢支店跡地あり方検討懇話会

— 目 次 —

1. 第1回懇話会における主な意見
2. 市民アンケートの結果概要
3. 求められる機能の基本的な方向性（素案）

別冊 日本銀行 各支店跡地の主な活用事例について

議論の視点

第1回懇話会の意見及び市民アンケート結果を踏まえ、当該地に求められる機能の基本的な方向性について議論

1. 第1回懇話会における主な意見

基本的な考え方（総論）

- ・ **都市の品格、賑わい創出、まちなかの回遊性がキーワード**
- ・ **人が集まる強力な機能**をもった施設
- ・ **当該地と周辺とのつながり**も重要
- ・ **様々な機能のハブ（結節点）の役割**を持たせる
- ・ 金沢の人たち自身が楽しめるものが、結果、観光の資源ともなるような **現在の金沢を発信できる場所や機能**
- ・ **市民や観光客の活動がまちなかに可視化される空間**になるとよい
- ・ **市民に愛される文化的活動の研鑽と発表の場**

下記の立地特性（当該地の強み）別で分類・整理

立地特性（当該地の強み）

- ① 県都の中心であり、都心の風格を感じる
ことができるエリア
- ② 交通の要衝
- ③ 多くの人々が行き交う場所
- ④ 多くの芸術文化施設や歴史文化遺産が集積

① 県都の中心であり、都心の風格を感じることができるエリアに関して

- ・ 当該地は、歴史的及び地形的な面で、非常に重要な位置
- ・ 北国街道沿いであり、中心的な位置
- ・ 昔から大きな商家が立地していたこと、お城のお膝元、また惣構の内側にあった
- ・ 人が集まる強力な機能を持った施設
- ・ 当該地は、金沢の都心のまさに中心部で、都市の心臓部になるべき場所
- ・ 武蔵や金沢駅方面、片町方面へ向かうゲートとなり、かつ品格が感じられる場
- ・ 昭和から平成にかけて、このまちは昼も夜もにぎわう愉快的まちだったが、ここ数十年の間、まちなかのにぎわいが少しずつ薄れてきた

②交通の要衝に関して

- 都心軸の裏通りや、裏手の香林坊にぎわい広場やせせらぎ通りとのつながりも重要
- 当該地は、上下を合わせて1日 約1,800本のバスが往来する場所
- 郊外と都心とを繋ぐことで都心軸がにぎわい、市民の利便性が増す
- 近い将来、自動運転が現実となっていくと仮定したとき、当該地を生かしたモビリティハブのようなことができるの良い
- 回遊性が基本的な考え方のキーワード

③多くの人々が行き交う場所に関して

- ・ 雨の日でも楽しめることと、観光客も市民も楽しめる施設が望ましい
- ・ まちなかには開放的な空間があるが、室内で開放的な空間が少ない
- ・ 金沢21世紀美術館のサテライトでもいいし、カフェやショップなど、市民に開放された場所として、暫定的に利用されるのも良い
- ・ 一つの機能ではなく、様々な機能のハブ（結節点）の役割を持たせる必要
- ・ 歴史的な背景を踏まえると、重要なまちのクロスポイント
- ・ 市民が集まれる場であってこそ、その地域の良さが出ることから観光客は、そこに混ぜてもらおう、そうした感覚で考えることが必要
- ・ 香林坊にあうイメージであれば、低層階はラグジュアリーなブランドショップ、レストランや、アミューズメント施設、ファミリー層、若者のまちなかへの回帰
- ・ 当該地周辺が、映画街や繁華街であった経緯も踏まえ検討

④多くの芸術文化施設や歴史文化遺産が集積していることに関して

- ・日銀の塀がなくなり、多数の人が往来できるようになった場合、少し下ると武家屋敷街に、少し上るとお城に行けるようになると魅力的
- ・これまでの蓄積の上にある新しい今の金沢を見せていく場所や機能ができるとうい
- ・市民や観光客の活動がまちなかに可視化される空間になるとよい
- ・金沢の生活文化を表出していくことが大事
- ・コンサートや演劇が常時開催される中規模のホールを設け、ゾーンとして集客
- ・金沢の人たち自身が楽しめるものが、結果、観光資源となるのが理想
- ・観光の形態も、より深く地域を感じ楽しむ方向に大きくシフト
- ・観光のために何かを行うのではなく、市民に定着した日常的な文化そのものが豊かさを増し、その素晴らしさを観光客が楽しむようなあり方が理想
- ・文化的活動の研鑽の場、発表の場となり、これが市民や来街者の目に触れることで、観光振興はもとより、市民の成長にも繋がるのではないか

その他の意見

- 日銀含め、都心軸の沿道建築は、内外を分断する堅いファサードを持っている印象道と建物の関係性において、内外を曖昧にさせるファサードやプランづくりが重要
- 建物については、市民のみなが見学でき、その後の活用の方法について想像力を膨らませることができるように、一定期間は残して欲しい
- 建物は、残して何かに利活用できればよいのでは。
- 商店街と一体とした中で、まちづくりがなされなければ発展しない
- プロセスを大事に、市民も自分ごととして考えていけるとよい
- 金沢市に土地の取得を望む
- 金沢支店と他行における土地利用、駅からの距離や敷地面積等の違いや共通点を教えてほしい
- 東京駅の周辺に、昔の郵便局をそのまま使った KITTE（キッテ）といわれる建物があるが、他都市の先進事例を参考に検討できないか
- 日本の金融中心ストリートであった丸の内の仲通りは、当該地周辺と同じように多機能化が進んだ経緯があり、参考にできないか

[参考] 主な日本銀行各支店跡地の立地条件等の比較

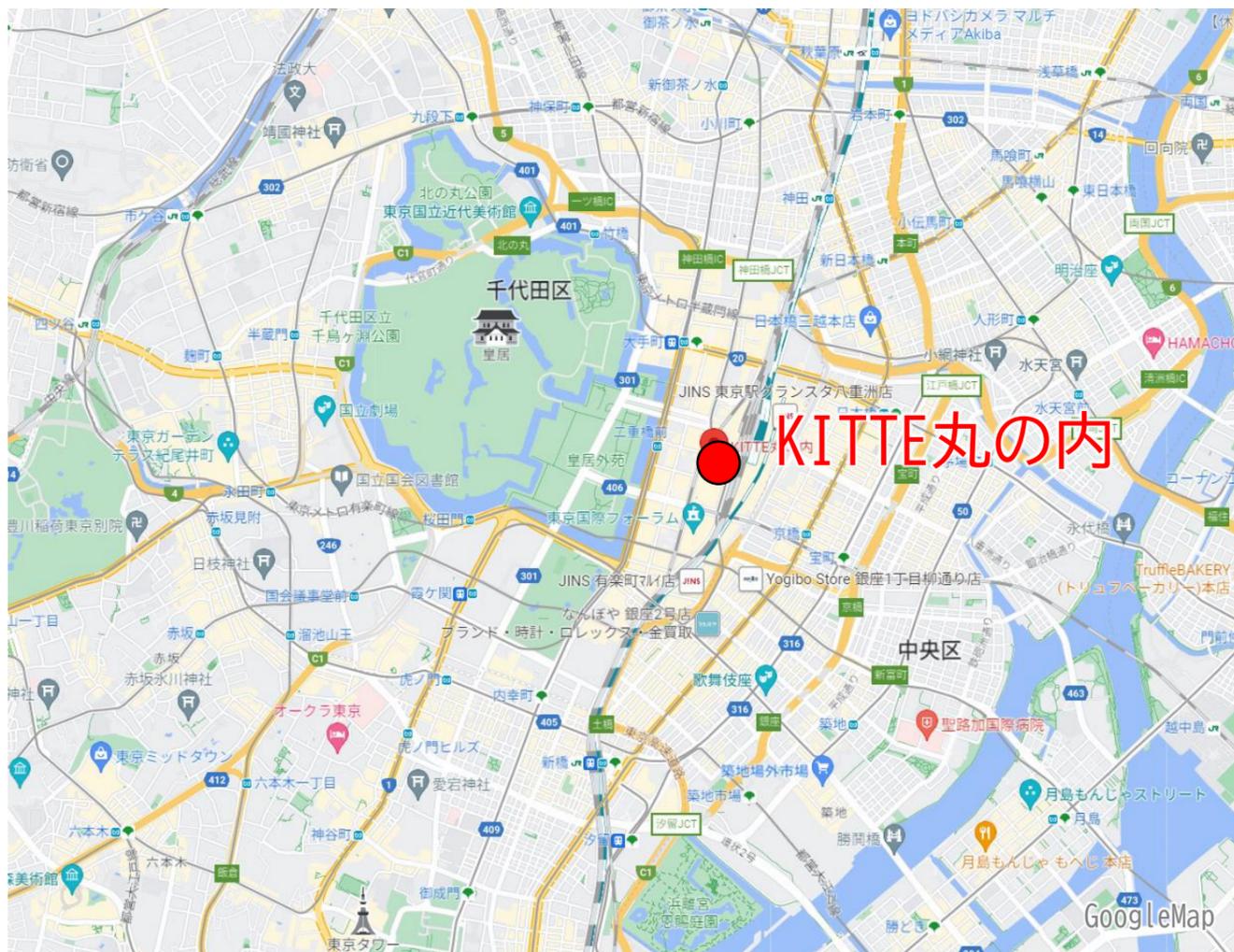
		金沢支店	①建物を残し跡地を活用		②建物を取り壊し跡地を活用		③活用方法を検討中
			旧京都支店	旧松江支店	旧大分支店	旧那覇支店	旧釧路支店
所在地		金沢市香林坊2-3-28	京都市中京区三条通高倉西入菱屋町48番地	松江市殿町43	大分市府内町1丁目1-1	那覇市松山1丁目2番1号	釧路市大川町2-26
竣工		昭和29年（1954年）	明治39年（1906年）	昭和13年（1938年）	/	昭和47年（1972年）	昭和27年（1952年）
設計		（株）山下設計	辰野金吾、長野宇平治	長野宇平治		/	西村好時
構造		鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下1階付地上3階建、陸屋根	煉瓦造、2階建、一部地下1階、スレート葺、両翼塔屋付、袖塀附属	鉄筋コンクリート造3階地下1階建、塔屋、煙突及び塀付			/
敷地面積		約4,700㎡	約2,200㎡	約2,900㎡	/	約2,700㎡	
延床面積		約4,800㎡	約1,800㎡	約2,200㎡		/	
駅からの距離		JR金沢駅から2.0km（徒歩26分）	地下鉄烏丸御池駅から290m（徒歩4分）	JR松江駅から1.4km（徒歩19分）	JR大分駅から280m（徒歩4分）		ゆいレール県庁前駅から400m（徒歩6分）
中心市街地活性化基本計画		中心市街地計画区域内	計画なし	中心市街地計画区域内	中心市街地計画区域内	中心市街地計画区域内	中心市街地計画区域内
都市計画マスタープラン		中心商業・業務地区	広域的な商業・業務が中心となる地域	商業・業務地区	商業・業務地区	業務地域	沿道商業業務地区
都市計画規制等	用途地域	商業地域 容積率：600% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：400% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：300～500% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：600% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：600% 建蔽率：80%	商業地域 容積率：400% 建蔽率：80%
	防火・準防火地域	防火地域	準防火地域	準防火地域	準防火地域	防火地域	準防火地域
	高度地区	45m高度地区	15m 第4種高度地区	/	/	/	/
跡地の用途		/	京都文化博物館別館（1988年）	カラコロ工房(2000年)	祝祭の広場（2019年）	沖縄セルラー電話（株）（2012年）	検討中
跡地の整備主体		/	京都府	松江市	大分市	沖縄セルラー電話(株)	釧路市
備考		令和5年の秋頃移転予定	重要文化財	登録有形文化財（建造物）	民間企業が取得した後大分市が取得	特になし	特になし

[参考] KITTE丸の内

民間による整備・管理



- 所在地 : 東京都千代田区丸の内2丁目7-2
- 敷地面積 : 約11,600㎡
- 構造・規模 : 鉄骨造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上38階、地下4階、塔屋3階
- 整備主体 : 日本郵便株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
三菱地所株式会社
- 管理運営 : JPビルマネジメント株式会社
- 特徴 : **日本郵政が初めて手掛けた商業施設で、大規模オフィスビル「JPタワー」の低層部として、旧東京中央郵便局舎を一部保存し、「東京」駅前地区の風格ある歴史的景観を継承しながら、賑わいのある魅力的な都市空間の形成に貢献。**



出典：JPビルマネジメントHP
(<https://jp-building.co.jp/properties/jp%382%bf%e3%83%af%e3%83%bc%ef%bc%8fkitte%4%b8%b8e3%81%ae%e5%86%85/>)

【参考】KITTE丸の内

民間による整備・管理

イベントスペースやテラスによる賑わい創出

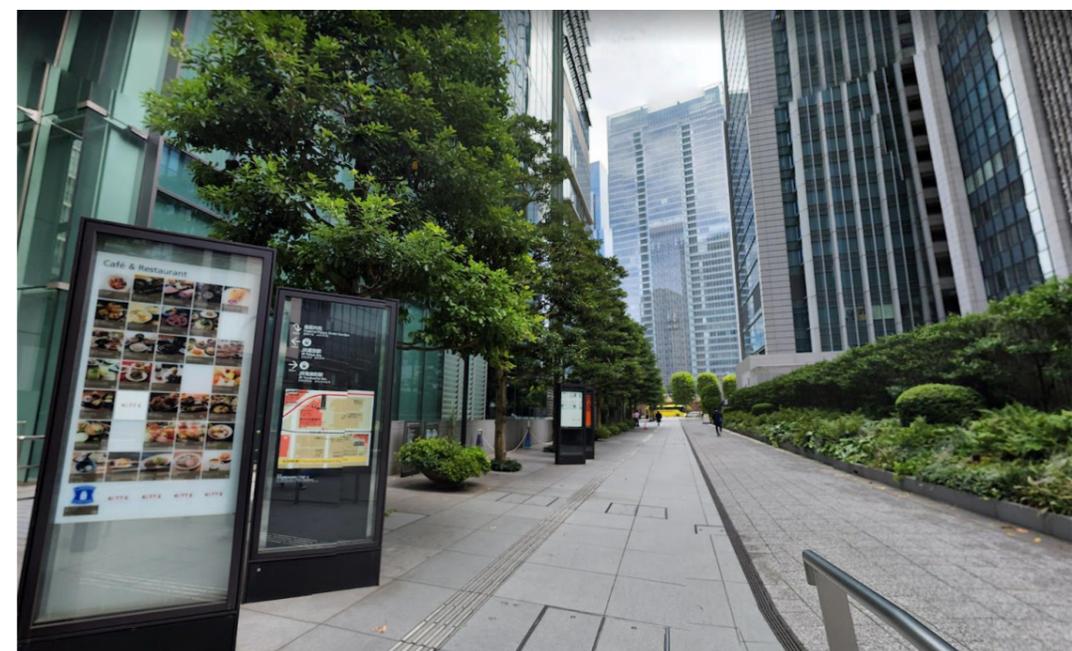
- 吹きぬけの空間が印象的な「KITTE」1階のアトリウム（300m²）をイベント会場として貸出。
- 「KITTE」南側のテラス（370m²）を車両展示やキッチンカー、テントによる販売など多様な活用方法で賑わい創出。



出典：KITTE HP (<https://marunouchi.jp-kitte.jp/guide/eventspace.jsp>)

東京駅から各方面への屋内・屋外通路による回遊性の向上

- 建物の中央部には東京駅と有楽町方面を結ぶ南北方向の屋内歩行者通路、南側の東西方向には緑地と一体化した屋外歩行者通路を整備し、丸の内地区の回遊性向上に寄与。



出典：GoogleMap ストリートビュー

【参考】丸の内仲通り

丸の内 ストリートパーク

まるのうちすとリーとぱーく

千代田区

ウォーカブル推進都市

所在地：東京都千代田区丸の内

■路線データ



軒先利用



歩行者天国



再構築



地図出典：OpenStreetMap

■参照

ストリートデザインガイドライン

■都市区分	特別区	■路線延長	約0.3km
■整備年代	2002年	■再整備区間	約1.2km
■利活用団体	大丸有エリアマネジメント協会	■再構築・利活用状況	【再構築】車道幅員を9mから7mに狭め、歩行者空間は両側に1mずつ拡大 【利活用】MARUNOUCHI STREET PARK2020の実施(社会実験)等
■用途地域	商業地域		

■参考情報リンク

<https://marunouchi-streetpark.com/>

■概要

丸の内仲通りは、建物低層部の改修や沿道街区の開発とあわせて整備を実施し、街並みの景観をマネジメントしながら歩道を両側7mに拡幅、樹木・ベンチ・屋外彫刻作品等を設置して豊かな歩行者環境を創出してきた。2019年・2020年には新たな街路空間のあり方や活用方法を検証すべく、MARUNOUCHI STREET PARKと言う社会実験を実施。安全・安心に利用できる空間づくりや、丸の内仲通りの将来のあり方を検証し、更なる人のための空間創出を目指している。

【参考】丸の内仲通り

<都心の広場・公園的空間のあり方を検証する社会実験>

Marunouchi Street Park 2023 Summer

2023年7月27日(木)～9月21日(木)



Marunouchi Street Park 2023 Summer における検証強化項目

<p>屋外充電 風力/太陽光による オフグリッド仕器の検証</p>	<p>常設化に向けた 耐久性の高い仕器の検討</p>	<p>場の安全管理と 警備体制の構築 (カメラ警備導入)</p>
<p>人工芝の 敷設方法の検証</p>	<p>就業者や来街者を 巻き込んだ 音楽のある空間の創出</p>	<p>世相にあった取り組みとの コラボ・プロモーション (ラグビー/SDGs)</p>

◆Block 1 (丸ビル・日本郵船ビル・三菱商事ビル前) : 「Stay」

太陽光発電や風力発電を備えた屋外型給電スポット「寄り道テーブル」や「木陰の寄り道ベンチ」で仕事をしたり、お買い物の合間に休憩をしたりと、木陰の下でゆったり過ごせる空間をご用意します。

※屋外型給電スポットはベルデザイン社の製品を使用
ベルデザイン社：<https://www.bell-design.co.jp/>

また会期中は SDGs に関する展示や販売などのイベントも開催されるほか、普段丸の内仲通りに出店しているキッチンカーも日替わりで登場します。



◆Block 2 (丸の内二丁目ビル・丸の内仲通りビル前) : 「Enjoy」

毎年多くの方が演奏するストリートピアノが、今年はステージのような雰囲気装飾とともに設置されます。8月19日(土)からは、エリアの就業者や来街者による演奏企画も開催されます(後段参照)。

丸の内仲通りビルのレストラン「GARB Tokyo」や「パリアッチョ 丸の内仲通り店」、の屋外客席も展開し、上質な音楽とともに食事をお楽しみいただけます。



◆Block 3 (丸の内パークビル・明治安田生命ビル前) : 「Try」

今年開催の世界大会に出場するラグビー日本代表選手のユニフォームデザインが施されたブランコ「ONE TEAM SWING!」が期間を通して設置されます。さらにラグビーボールをイメージした「ラグビーテーブル」やラグビー選手の手形があしらわれた「手形ベンチ」も登場します。

またこのブロックでは人工芝と天然芝の両方が敷かれ、備え付けのピクニックシートなどでゆったりとくつろげる空間となります。



三菱地所はラグビー日本代表を応援しています

2. 市民アンケートの結果概要

(1) 実施期間と方法

実施期間 : 7月3日(月)~8月6日(日) (35日間)

方 法 : インターネット及び紙による回答 (無記名で実施)

(2) 回答数 : 1091件

(3) 日本銀行金沢支店 現地見学会の開催

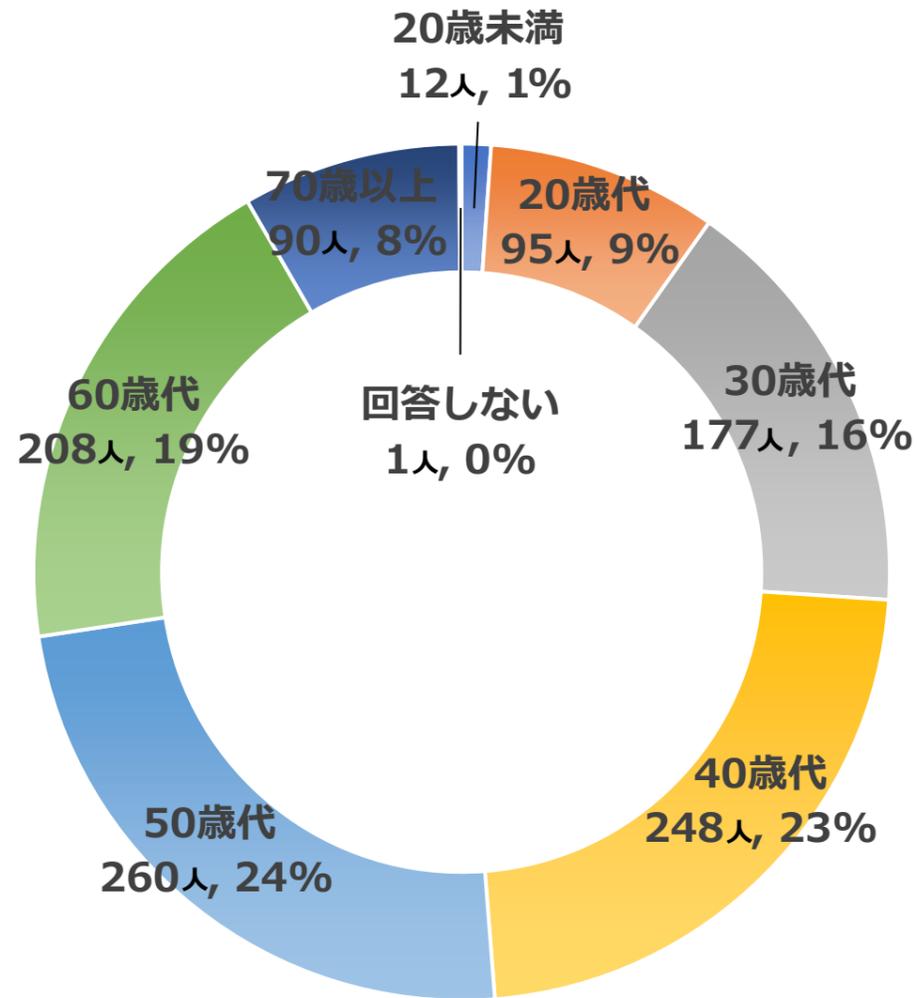
開催日数 : 4日間 7月19日(水)、20日(木)、24日(月)、8月4日(金)

募集期間 : 7月3日(月)~12日(水)まで

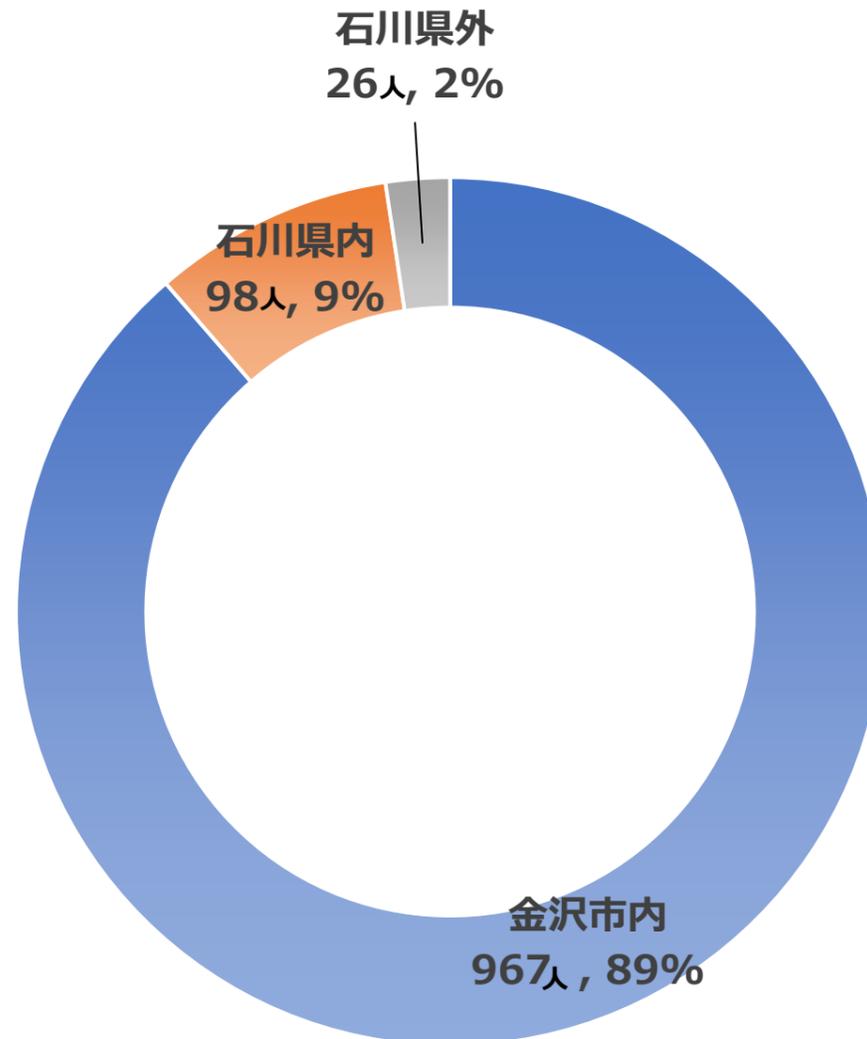
参加者 : 178人

(4) 回答者の属性

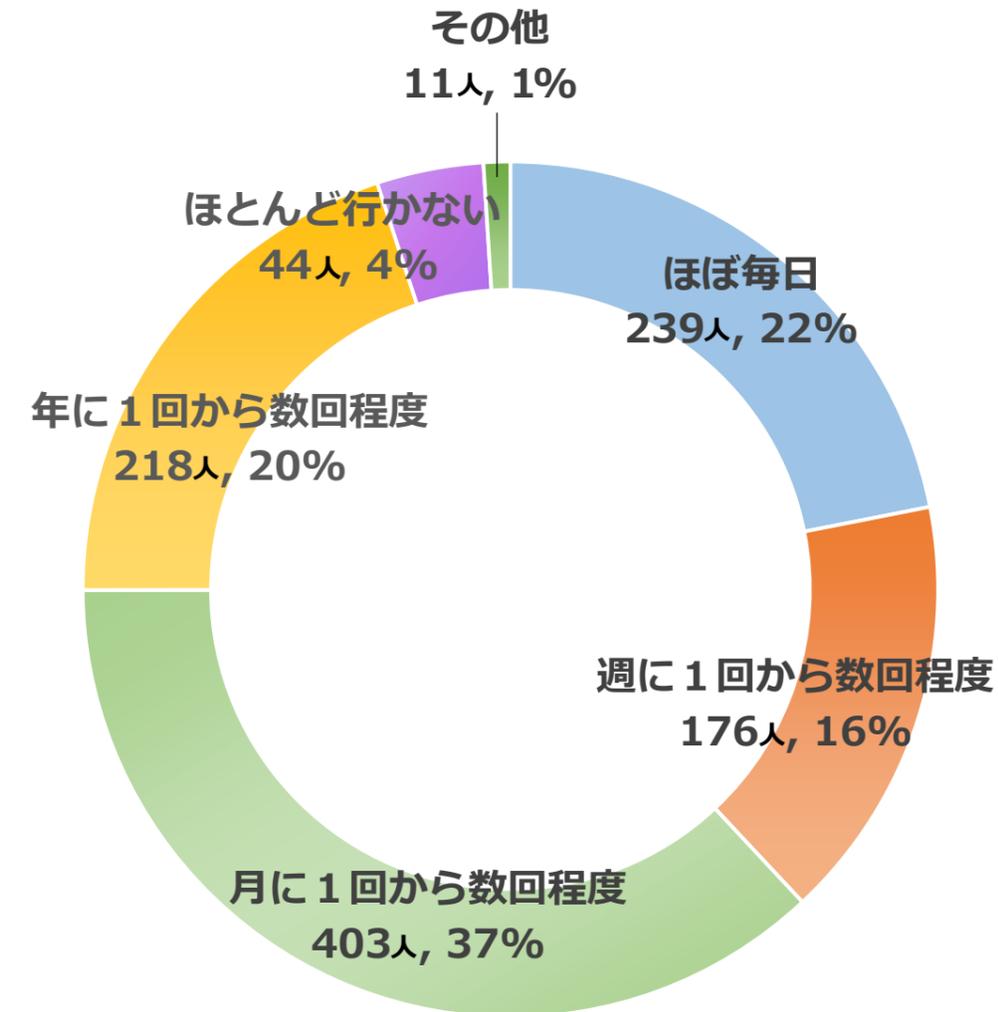
年齢



住まい



来街頻度



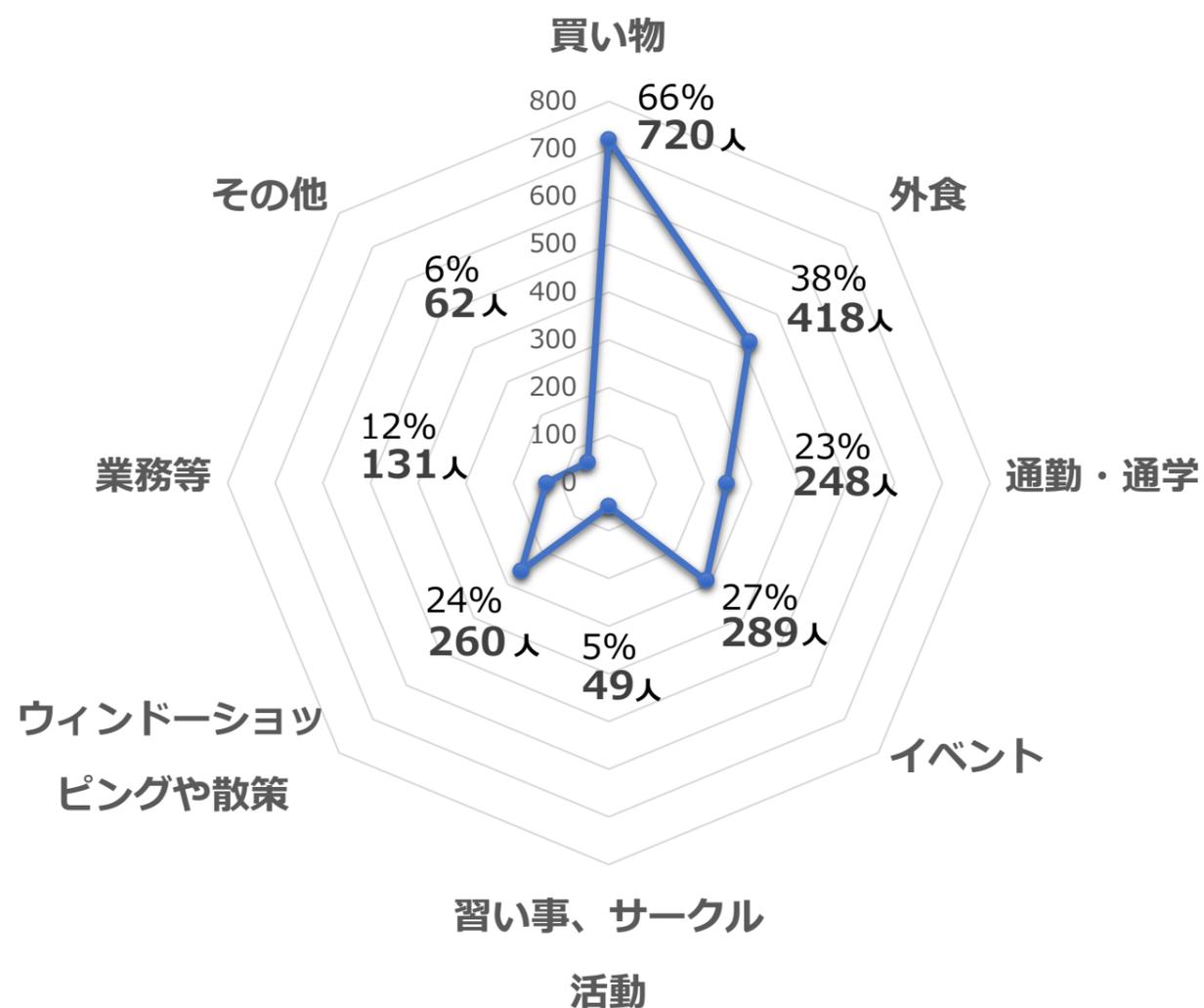
年齢 概ね多様な世代より偏りなく回答

住まい 「金沢市内」の方からの回答が約9割

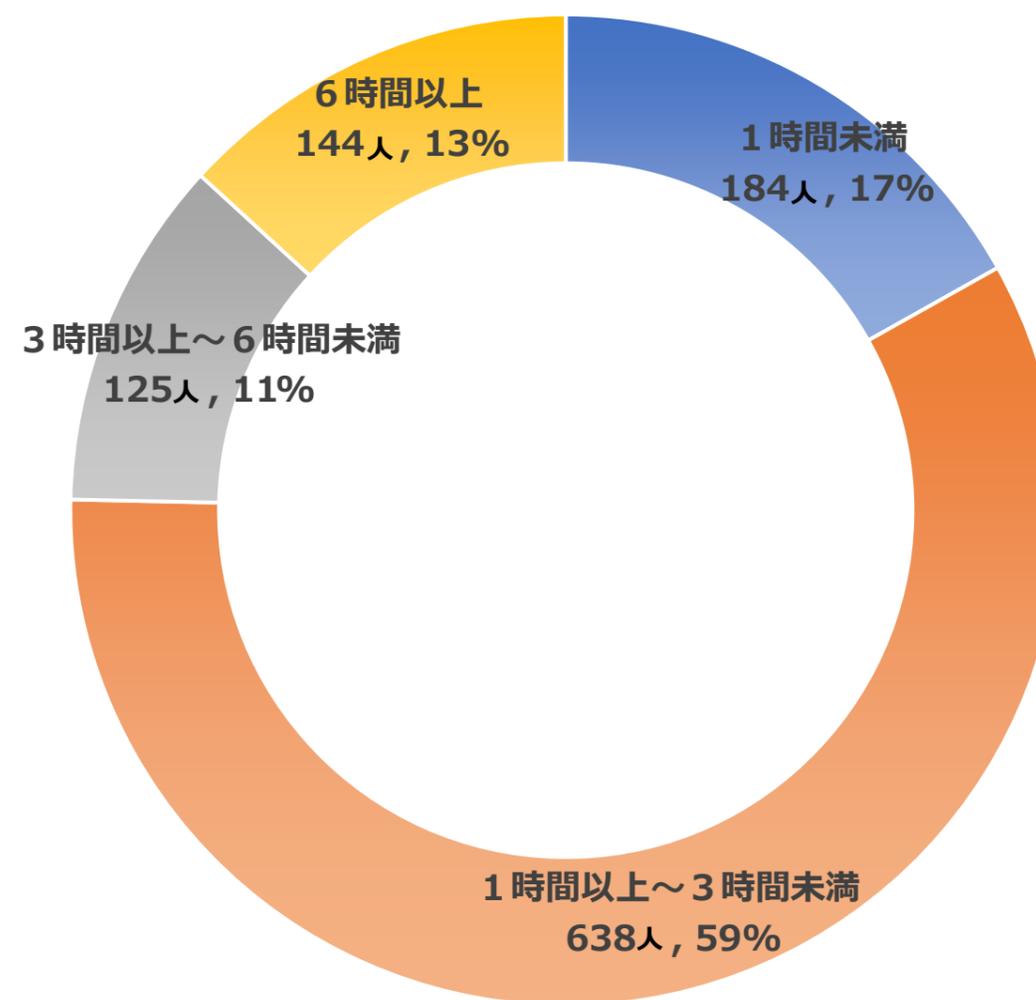
来街頻度 「月に1回から数回程度」訪れる方が約4割と多いが、その他は概ね幅広い利用者層から偏りなく回答

(4) 回答者の属性

来街目的（複数回答）



滞在時間



来街目的

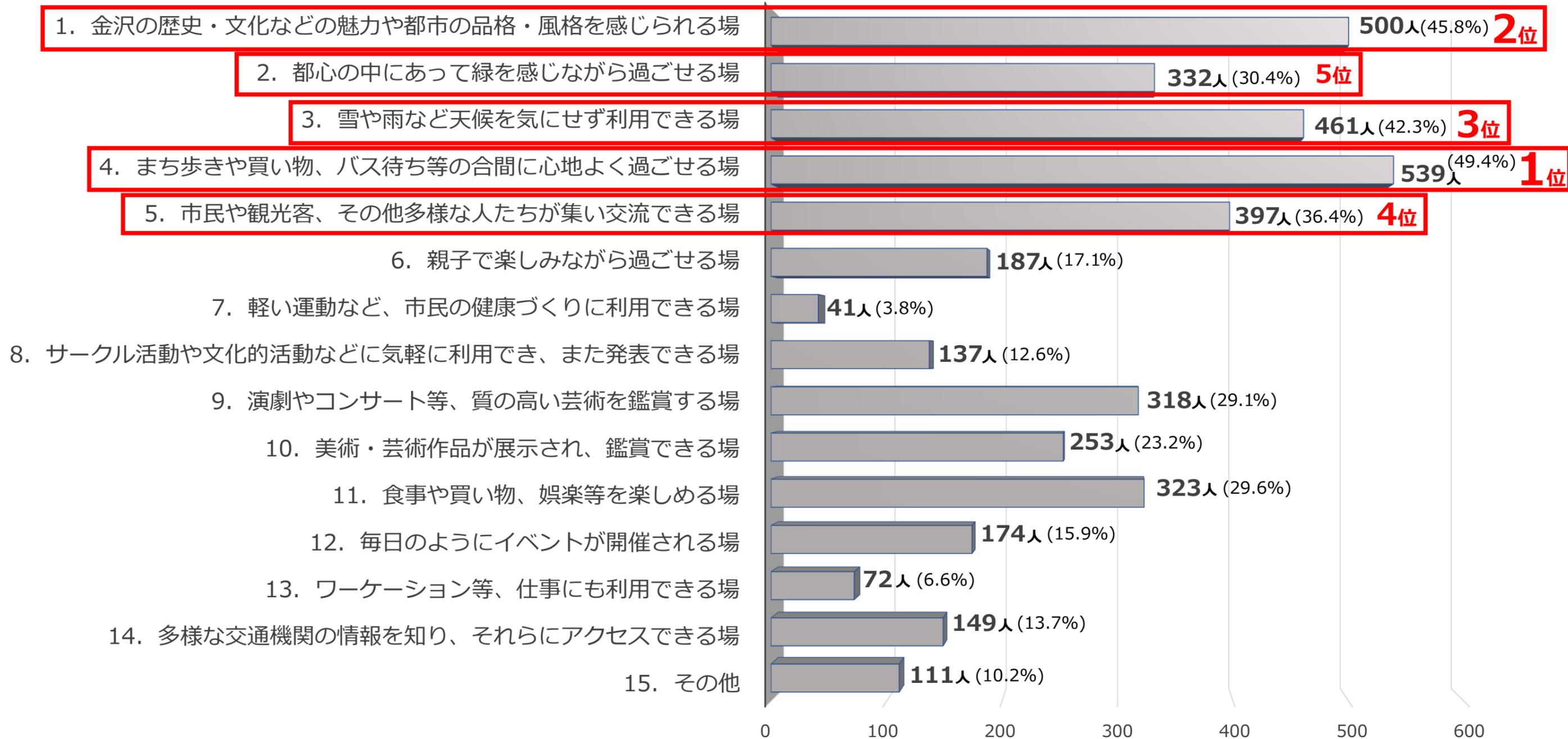
「買い物」を目的とし来訪する方からの回答が最も高く（約66%）、
 その他「外食（約38%）」、「イベント（約27%）」、
 「ウィンドーショッピングや散策（約24%）」、「通勤・通学（約23%）」の順

滞在時間

「1時間以上～3時間未満」の方からの回答が約6割

(5) 移転後の跡地について

当該地は、どのような場になるとよいか（複数回答）



「まち歩きや買い物、バス待ち等の合間に心地よく過ごせる場」と回答する割合が約5割と最も高く、次いで「金沢の歴史・文化などの魅力や都市の品格・風格を感じられる場（約46%）」、「雪や雨など天候を気にせず利用できる場（約42%）」と続いている。

(5) 移転後の跡地について

自由記述における
キーワード

金沢のブランドや情報を発信

ダンスやミュージカル専用劇場

民間資本活用

市役所業務の一部移転

歴史博物館

伝統・文化

市民の憩いの場所

アミューズメント施設

図書館

複合施設 (交通メイン)

美術館

劇場

バス停留所の機能向上

周辺と共存・連続する文化施設

バス待ち時間を充実する機能

集客機能

気楽に立ち寄れる

ブランドショップ

品格・風格

映画館

民間主体

ランドマーク施設

全天候型空間

交通結節点機能

子どもの遊び場

市民のための施設

コンベンション施設

全国初の斬新な空間

金沢らしさ

民間に売却

ビアホール

お洒落なカフェ

美術館分館

現建物活用

リノベーション

文化的な活動を発表できる場

コンサートホール

水族館

周辺一帯を開発

イベントスペース

駐車場機能

フードテーマパーク

科学技術館

ライブができる

中心部らしいシンボル

金沢らしさを体験できる

学習スペース

屋内アスレチック

緑あふれる公園

サテライトキャンパス

複合施設 (商業メイン)

外資に手渡さないでほしい

自然が感じられる

バスターミナル

美大関連施設

建物に価値を感じない

アリーナ

3. 求められる機能の基本的な方向性（素案）

議論の視点

第1回懇話会の意見及び市民アンケート結果を踏まえ、当該地に求められる機能の基本的な方向性について

求められる機能の
基本的な方向性（素案）

(1) 来街の動機となる新たな魅力やにぎわいを創出し、都市の品格・風格を感じることができる機能

魅力・品格

(2) まち全体への新たな人の流れを生み出す環境を創出し、人々の回遊性を向上させる機能

回遊・交流

(3) 多様な人々の多様な交流や使い方が共存する空間を形成し、快適に滞在できる機能

多様・滞留

(4) 市民の日常的な文化活動を促進し、市民・観光客が文化に触れて楽しむことができる機能

文化・活動

① 「県都の中心であり、都心の風格を感じることができるエリア」 を踏まえた求められる機能

【配慮事項】

- ・当該地周辺は、明治中頃から繁華街となり、金融・ビジネス街、映画街等として発展
- ・近年は、ホテル等も立地し、多機能化してきた歴史ある県都の中心エリア



**（１）来街の動機となる新たな魅力やにぎわいを創出し、
都市の品格・風格を感じることができる機能**

魅力・品格

【想定されるあり方・空間イメージ】

- ・都心軸の中心にふさわしい、品格・風格を感じられる意匠
- ・これまでの閉鎖的な空間イメージと異なる、まちに開かれた空間
- ・まち全体への波及効果やエリアの価値向上につながるような人が集まる強力な機能

② 「交通の要衝」であることを踏まえた求められる機能

【配慮事項】

- ・江戸時代より総門が立地するなど北國街道と広坂通りの交通の要衝
- ・様々なバス路線が集積する交通機関のネットワークの拠点
- ・都心軸と周辺地域または郊外とを移動するための起点



**（２）まち全体への新たな人の流れを生み出す環境を創出し、
人々の回遊性を向上させる機能**

回遊・交流

【想定されるあり方・空間イメージ】

- ・当該敷地へ多方向からの出入りができる環境
- ・バスやシェアサイクルなどの多様な交通手段の情報を知り、実際に接続できる環境
- ・歩行者や自転車が立ち寄りやすく、出発しやすい環境

③ 「多くの人が行き交う場所」であることを踏まえた 求められる機能

【配慮事項】

- ・当該地周辺には、ビジネス街や商店街、文化施設、住居地区が集積
- ・住む人、働く人、訪れる人など様々な人々が行き交うな場所



**（3）多様な人々の多様な交流や使い方が共存する空間を形成し、
快適に滞在できる機能**

多様・滞留

【想定されるあり方・空間イメージ】

- ・自由度の高い広場のような空間
- ・待ち合わせやバス待ちの合間に、心地よいブレイクタイムを過ごせるサービス等
- ・雪や雨など、天候を気にせず利用できる、全天候型の空間
- ・都心の中にあって、陽や緑といった自然を感じながら過ごせる空間

④ 「多くの芸術文化施設や歴史文化遺産が集積」していることを踏まえた求められる機能

【配慮事項】

- ・当該地周辺には、長町武家屋敷跡が隣接するほか、金沢城・兼六園等が立地し、文化を親しむ多くの市民・観光客が訪れるエリア



（４）市民の日常的な文化活動を促進し、市民・観光客が文化に触れて楽しむことができる機能

文化・活動

【想定されるあり方・空間イメージ】

- ・市民が気軽に文化活動の練習や発表に使用できる場
- ・市民の文化活動が可視化され、多様な市民や観光客も、文化を身近に感じ、楽しむことができる場
- ・質の高い芸術を鑑賞する場
- ・市内外のアーティストも集まり創作活動や発表ができる場

全体スケジュール

7月～ 市民アンケート（現地見学会）

10月 第2回あり方検討懇話会（本日）

1月（予定） 第3回あり方検討懇話会
（あり方のとりまとめ）